

日本グラファイトファイバー株式会社の炭素繊維製造設備の更新について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、当社と新日鉄マテリアルズ株式会社(新日本製鐵株式会社(以下「新日本製鐵」、100%出資)の合併会社である日本グラファイトファイバー株式会社(以下「NGF」)のピッチ系炭素繊維製造設備を更新し、生産能力を増強することといたしましたので、お知らせいたします。

当社は、1980年代よりピッチ系炭素繊維の研究を続けており、同時期にピッチ系炭素繊維の研究開発を行っていた新日本製鐵と提携することにより炭素繊維事業を拡大できると考え、1995年に新日本製鐵と共同してNGFを設立しました。以後、当社は、NGFから購入したピッチ系炭素繊維を使用してロボットハンド、ロール、土木補修シート等の製造販売を行い、炭素繊維事業を展開して参りました。

ここ数年来世界的に炭素繊維全体の需要が急拡大し、今後も引続き伸長していくと期待されますが、ピッチ系炭素繊維においてもその特質(高剛性、高熱伝導性等)を生かした産業分野の需要拡大が見込まれるため、当社は新日鉄マテリアルズグループと共同してNGFの生産能力を増強することを決定いたしました。

近年、当社はピッチ系炭素繊維の購入量が不足していたため製品の生産・販売を抑えておりましたが、今回の生産能力増強により供給不足が解消し、産業分野を中心として工業機械部品等の成形品を本格的に拡販できるようになります。また、新規需要分野への展開を目指して今後も積極的に技術開発を行い、当社炭素繊維事業を拡大して参る所存です。

記

- 1.製造品種 ピッチ系炭素繊維(長繊維)
- 2.製造能力 180トン/年
- 3.設備投資額 約30億円
- 4.建設工期 2009年6月完成予定

【参考】日本グラファイトファイバー株式会社の概要

設 立	1995年4月	
資本金	1億円	
株 主	日鉄コンポジット株式会社*	66.6%
	新日本石油株式会社	33.4%
本 社	東京都中央区日本橋小舟町3-8	
工 場	兵庫県姫路市広畑区富士町1(新日本製鐵広畑製鉄所構内)	

*資本関係

新日本製鐵株 ⇒ 新日鉄マテリアルズ株 ⇒ 日鉄コンポジット株
(100%) (100%)

以上

● 別添資料

 [ピッチ系炭素繊維について\(151.6KB\)](#)